



城北支部のタペ
ストーリー

大阪市教 教研集会

講演 谷口知美さん (和歌山大)
○10月12日 (土) 13時30分
○アネックスパル法円坂

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪府中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



原水禁大会inNY2020へ

子どもに核兵器の悲惨さを語る

核兵器禁止条約発効に必要な批准国数が50カ国の2分の1に達するなど、世界が核兵器廃絶への歩みを進めるもとで原水爆禁止世界大会が開かれました。2020年原水爆禁止世界大会inニューヨーク、NPT再検討会議に向け運動が続きます(以下、中林真理子さんの参加記掲載)。

教師になって以来、夏は必ず平和学習をするので決意し、6回目の原水禁大会に参加となりました。何度参加しても世界大会は毎年新鮮で、平和運動の学びの新たな発見とつながりがあります。原爆によって苦しみを続けておられる被爆者の平均年齢は今年82歳。今回、3日間を通して私は、「被爆者がいなくなる時代に私たちはどう向き合おうか」と考えさせられました。

語りを終え最後に、今の若い人に「未来がどうなっていくのか考え、それについて対話を深めてほしい」と訴えました。今までもこれからも平和な未来を願いながら私たちに運動のバトンが託されていると強く感じました。



教職員平和のつどい(長崎)



国際青年行進者(左)平和行進II 大阪市7月4日



港支部街頭宣伝 8月19日

第20回 ママ友会議

産休講師が決らず不安

第20回ママ友会議を7月15日に行いました。今回は、子ども7人を含む20人の参加でした。牛乳パックで手作りおもちゃを作った後、女性部の要求書について話し合いました。

重点項目として、その後の交流会

では、「産休講師が決まらず不安だった」「先生の数が足りない」「管理職が母性保護の権利を知らない」等の実態が明らかになりました。また、仕事復帰をしたママさんからは、「実家の応援を受けたい」と、切実な声も聞かれました。今回は、12月21日(土)で

人事院 若年層引上げ 勤勉手当 積み増し

人事院は8月7日、2019年度の国家公務員の月給を0.09%(387円)、ボーナスを0.05カ月引き上げるよう国会と内閣に勧告しました。月給は初任給、若年層に限り、実質的な賃上げが続いている高年齢層への配分はありませぬ。ボーナスは年4・50カ月とし、引き上げ分は一律に支給する期末手

北・城北・港 平和のつどい・街宣

安倍改憲策動が強まるもとで港支部は8月19日、「憲法九条改悪反対」駅頭宣伝を地下鉄九条駅前で行いました。激しい雨の中でしたが、傘を差しながら署名してくださいさる方や、用意していた宣伝物が30分ほどでなくなるなど、九条改悪反対の市民の大きな声に励まされました。

「空白の一日」解消 臨教の労働条件改善を

期限付講師等(臨時任用職員)の「空白の一日」解消は長年の要求でした。地公法を根拠とする「新たな任期との間の空白期間(3月31日任用されない)が解消されます。2020年3月31日まで任用され、継続する場合、4月1日発令となります。3月31日の給与が支払われ



る、期末・勤勉手当が減額されない、退職手当は期限満了し退職した後支給、社会保険料が3月分給与から控除されるなど改善されます(8月22日付「分会・組合員の皆さんへ」参照)。臨教部の重点要求が実現しました。第50回全国臨時教職員問題学習交流集会が8月10日から千葉県内で行われ、大阪市教から2人が参加しました。

三輪定信さんと鎌田伸一さんは、無権利だった臨時教職員が要求を集め全国的な運動を作った歴史を話しました。鎌田さんは今の教員採用

仲間が増えた!

「組合に入りませんか」の言葉を教採講座、つながり、相談で加入

7月20日の教採突破講座。「講師組合員の方は面接や実技など、個別の練習希望に対応します」の呼びかけに、参加者がその場で組合加入。また、今年度大阪市に来たAさん。前任市の知り合いから「あの人は組合に入る人ですよ」と連絡があり、Aさんに確認すると即加入となりました。さらに夏休み後の8月最終週、育休中のBさんから手当について電話で相談があり、話をすることで加入を決意されました。

「空白の一日」解消 臨教の労働条件改善を

制度に触れ「免許状を持っていない教員の採用は、受験者が合否を競い合う競争「試験」ではなく、教員の適正を判断する採用「選考」にするべきだ」との指摘が印象的でした。

2日目の分科会では、教員採用制度の改善、臨時教職員の労働条件、教育実践報告などのテーマで交流を深めました。臨教運動の歴史を振り返ると、「空白の一日」解消は全国的な運動の成果としてとらえることができます。さらなる制度改善のために力を合わせていきたいと思います。